



受験番号

平成 25 年度 ラストスパート模試・第 2 予想

第 134 回対策 答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

氏名 \_\_\_\_\_

工業簿記

× (コログトジル) ×

〔問 1〕

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

〔問 2〕

予定部門費配賦表

(単位：円)

摘 要	製 造 部 門		補 助 部 門	
	A 製造部	B 製造部	動力部門	修繕部門
部 門 費	6,647,000	4,602,000	3,460,800	3,024,000
動力部門費			△	
修繕部門費				△
製造部門費			0	0

製造部門に配賦される修繕部門費の単価=( )円

〔問 3〕

- サービスを内製する場合の差額原価  円
- T I 社から購入すべき修繕サービス量  時間
- T I 社から提示される単価が 1 時間あたり  円未満であれば、同社の申し出を受け入れるべきである。

受験番号 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成 25 年度 ラストスパート模試・第 2 予想

第 134 回対策 答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ④

原 価 計 算

氏名 \_\_\_\_\_

× (コログトジル) ×

**第 1 問**

〔問 1〕 20×2 年 4 月～20×3 年 2 月において発生している原価差異は( )千円の(有利・不利)差異である。

※(有利・不利)のうち、不適切な語句を二重線で消しなさい。

〔問 2〕 (1) 3 月の生産量が 80 千個のとき、20×2 年度の税引前営業利益は( )千円である。

(2) 3 月の生産量が 90 千個のとき、20×2 年度の税引前営業利益は( )千円である。

〔問 3〕 当社の生産能力、製品在庫能力、その他の在庫方針を考慮したときの 20×2 年度の税引前営業利益が最大となる 3 月の生産量は( )千個となる。このとき、20×2 年度の税引前営業利益は( )千円である。

〔問 4〕 3 月の生産量は( )千個とすべきであり、このときの 20×2 年度の税引前営業利益は〔問 3〕の計算結果と比較して( )千円だけ(増加する・減少する)。また、翌年度の生産量は( )千個とすべきであり、税引前営業利益は( )千円となる。

※(増加する・減少する)のうち、不適切な語句を二重線で消しなさい。

〔問 5〕 当社が直接標準原価計算を採用した場合、〔問 3〕を前提とするとき直接標準原価計算による 20×2 年度の税引前営業利益は( )千円になる。

また、全部標準原価計算のときと比べて 20×2 年度の税引前営業利益は( )千円(増加する・減少する)。

※(増加する・減少する)のうち、不適切な語句を二重線で消しなさい。

〔問 6〕 基準操業度等の改訂により、20×3 年度における税引前営業利益は、改訂前と比較して( )千円だけ(増加する・減少する)。

※(増加する・減少する)のうち、不適切な語句を二重線で消しなさい。

**第 2 問**

①	②	③	④	⑤

